



スポーツ界も「HIV/エイズ根絶」
のために立ち上がっています！

ユニセフ×FCバルセロナ

～胸にunicefのロゴを付けて～

スペイン FCバルセロナ ユニセフのエイズプログラムに寄付

UNITE FOR CHILDREN
UNITE AGAINST AIDS



ユニセフのロゴマークがFCバルセロナのユニフォームに
入っていることにお気づきでしょうか？

昨年12月、日本で開催されたFIFAクラブワールドカップジャパン2006に、ヨーロッパクラブ代表として参加したスペインの名門サッカー・クラブチームFCバルセロナ。ユニセフがすすめている『子どもとエイズ』世界キャンペーンの強力なパートナーです。FCバルセロナ創立以来100年間スポンサーなどに使用を許すことのなかったユニフォームの前面に、ユニセフのロゴマークを入れ、協力を表しています。

FCバルセロナは、今後5年間にわたり、毎年190万ドル(約2億2,200万円)総額950万米ドル(約11億1,100万円)を、子どもたちを取りまくHIV/エイズ問題解決のために、ユニセフに寄付します。今後、スペイン国内や海外遠征先等で人びとへ、ユニセフへの協力を呼びかける予定です。



2006年9月、記者会見でユニセフロゴ入りユニフォームを披露するホアン・ラポルタ FCバルセロナ会長(左)とアン・ベネマン ユニセフ事務局長(右)。ユニセフロゴがユニフォームにはえます。
©UNICEF/HQ06-1220/Markisz



©UNICEF/HQ05-0013/Shehzad Noorani

前ユニセフ事務局長 キャロル・ベラミー氏

きよくじつ だい じゅしやう

旭日大綬章 受賞

昨年11月、日本政府はキャロル・ベラミー前ユニセフ事務局長に旭日大綬章を授与しました。

女性として初めてユニセフ最高責任者の任に着いた1995年ごろ、世界では政治的・社会的な混発が頻発。度重なる紛争や自然災害、貧困、HIV/エイズの問題等、さまざまな脅威に晒される子どもへの支援が、強く求められていました。ベラミー前事務局長は、子ども最優先の支援活動、特に教育の普及に尽力しました。

この度の叙勲は、ユニセフでの実績、日本とユニセフの関係強化、ユニセフを通して日本の国際貢献度と国際的地位の向上などの功績を高く評価したものです。



スマトラ沖地震後、身寄りのない子どもを元気づける(2005年 スリランカ)
©UNICEF/HQ05-0016/Shehzad Noorani